

2015年10月1日

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

各位

運用部門の組織改編について

このたび弊社は、資産運用ビジネスにおける運用の多様化・高度化、お客様へのサービスの向上に対応するため、運用部門の体制を改編いたしました。概要は以下の通りです。

1. 運用資産別組織を運用形態別組織に改編（下図の通り）

- ・ 現行の5部体制を、あらゆる運用資産・運用手法に対応する総合運用部とアクティブ運用に特化したリサーチ運用部を含む4部体制に改編します（トレーディング部・運用企画部は現行通りです）。
- ・ 総合運用部は、運用資産別だった各運用部を集約し、同じ指揮系統のもとに置くものです。これにより、資産横断的な戦略等への対応力を高めてまいります。
- ・ リサーチ運用部は、株式・債券や当社の強みであるリートのアクティブ運用を集約し、リターン獲得力の強化を図ります。

2. 外部運用デューデリジェンス機能の強化

- ・ 総合運用部が担っていた外部運用デューデリジェンス（評価・選定等）機能を切り出し、運用ミドル部署である運用企画部内にアウトソース運用室として新設し強化いたします。

3. 三井住友トラスト・グループの運用機能の活用

上記の運用形態別組織のもとで、

- ①リサーチ運用部では、グループのリサーチ基盤の活用
- ②総合運用部では、助言を通じたグループ運用力の活用
- ③運用企画部アウトソース運用室では、外部運用デューデリジェンスに関するグループノウハウの活用により、運用力を強化してまいります。

4. これらを通じて、運用に係る各機能の専門性を高め、運用力及びお客様の資産運用に関するニーズに応える商品提供力の向上を目指してまいります。

以上

新運用体制 —2015年10月1日組織改編—

